

令和4年度 事業計画（案）について

1 協議会の開催

公共交通は、通勤・通学・買物・通院などの日常生活を支えており、大切な移動手段としての役割を担っているが、人口減少・少子化の影響により、利用者が減少するとともに、運行のための呉市の負担が増大している。

さらには、近年、運転手の不足も深刻となっており、暮らしや都市を支える公共交通の維持が厳しい状況になりつつあることから、先端技術の活用や、新しい取り組みを進め、今後も公共交通を維持する必要がある。

こうした路線バスや生活バス、航路等、市の公共交通が抱える課題とその解決に向けた具体的な方策について協議・検討を進め、呉市にとって望ましい地域旅客運送サービスの方向性を示す「呉市地域公共交通計画」の策定に向けた準備・検討を行う。

現在、国土交通省では、アフターコロナ時代の地域交通の方向性の研究が「アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」有識者検討会」で議論されていることから、令和4年度においては、計画策定に向けた準備段階として勉強会を立ち上げ、その中で有識者検討会で示される方向性を踏まえた議論を行う。

2 公共交通機関の利用促進

路線バス・生活バス等の公共交通機関の利用促進のための、市民の利用意識向上を図るとともに、地域イベントを中心として、モビリティ・マネジメント*を実施する。

また、市と広島空港とを結ぶエアポートバス「呉広島空港線」の利用促進等に向けた広報活動等を展開する。

3 地域公共交通確保維持改善事業費補助金等を活用した事業展開

国の動向を注視するとともに、新たに打ち出された考え方やそれに伴う新規補助事業等を活用し、公共交通利用者の利便性の維持・向上を図るための具体的な事業展開を目指す。

※モビリティ・マネジメント：過度に自動車に依存したライフスタイルから、自動車と公共交通を賢く使い分け、利用するライフスタイルへ、行動の変化を期待するコミュニケーションを中心とした交通施策

令和4年度 呉市地域公共交通協議会 歳入歳出予算(案)

歳 入

(単位:円)

款	項	目	節	予算額	内 訳
負担金	負担金	負担金	呉市負担金	240,000	協議会負担金 240,000円
繰越金	繰越金	繰越金	前年度繰越金	938,753	
諸収入	諸収入	雑入	雑入	247	預金利息等
歳入合計				1,179,000	

歳 出

(単位:円)

款	項	目	節	予算額	内 訳
運営費	会議費	会議費	報償費	509,000	協議会 10,000円×12人×4回 講師等謝金 7,200円×2h×2回
			旅費	139,000	(協議会) 交通費8,220円×4回, 日当 1,300円×4人×4回 講師等旅費 東京-呉 往復 42,500円×1人×2回
			需用費	12,000	消耗品費, 食糧費等
	小計			660,000	
	事務費	事務費	需用費	22,000	消耗品費
			役務費	12,000	通信運搬費
	小計			34,000	
事業費	事業費	事業費	旅費	85,000	視察等旅費 東京-呉 往復 42,500円×2人×1回
			需用費	400,000	消耗品費, 印刷製本費等
		小計			485,000
歳出合計				1,179,000	